



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月14日

上場会社名 株式会社識学 上場取引所 東
 コード番号 7049 URL <https://corp.shikigaku.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 広大
 問合せ先責任者(役職名) 経営推進本部長 (氏名) 和田垣 幸生 (TEL) 03-6821-7560
 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	5,139	28.1	794	177.9	798	161.2	392	3.9
2025年2月期第3四半期	4,012	13.1	285	-	305	-	378	-

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 344百万円(-0.3%) 2025年2月期第3四半期 343百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年2月期第3四半期	円 銭 46.69	円 銭 44.88
2025年2月期第3四半期	44.18	43.92

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年2月期第3四半期	5,154		3,774		55.4	
2025年2月期	4,895		3,437		50.2	

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 2,858百万円 2025年2月期 2,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年2月期	一	0.00	一	0.00	0.00
2026年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	6,500	21.1	500	51.1	520	45.8	360	△15.6	42.80	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期連結業績の修正については、本日（2026年1月14日）公表いたしました「2026年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年2月期3Q	9,138,996株	2025年2月期	9,132,996株
2026年2月期3Q	725,021株	2025年2月期	725,021株
2026年2月期3Q	8,411,247株	2025年2月期3Q	8,559,276株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	1
(2) 当四半期連結累計期間の財政状況の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは「識学を広める事で人々の持つ可能性を最大化する」という企業理念のもと、組織コンサルティング事業、スポーツエンタテインメント事業、ファンド事業の3事業を行っております。なお、第1四半期連結会計期間より、従来「VCファンド事業」と「ハンズオン支援ファンド事業」としていた報告セグメントを「ファンド事業」に統合いたしました。

主力である組織コンサルティング事業においては、コンサルタントの育成と品質管理を行いながら、「識学」が顧客の組織に浸透する状態を実現するべくサービス提供を行ってまいりました。スポーツエンタテインメント事業においては、チーム強化への積極的な投資を行いつつ、地域密着型クラブとして認知度向上に向けたマーケティング活動やスポンサー獲得のための積極的な営業活動を行ってまいりました。ファンド事業においては、新進気鋭スタートアップ投資事業有限責任組合は新たに3社に対して出資を実施しました。また、新生識学成長支援1号投資事業有限責任組合において、売却による投資回収が1件発生しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,139,313千円（前年同期比28.1%増）、営業利益は794,022千円（前年同期比177.9%増）、経常利益は798,206千円（前年同期比161.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は392,717千円（前年同期比3.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(組織コンサルティング事業)

①マネジメントコンサルティングサービス

当第3四半期連結累計期間においては、2025年2月期下期の受注金額が、前年同期を下回った影響を受けました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のマネジメントコンサルティングサービス売上高は1,972,768千円（前年同期比3.8%減）となりました。

②プラットフォームサービス

当第3四半期連結累計期間において、「識学 基本サービス」において、顧客満足度の向上と解約率の低下を取り組んでまいりました。

なお、2024年4月より新規契約における価格改定（値上げ）を実施しております。当第3四半期連結累計期間末における識学基本サービスの契約社数は580社（前連結会計年度末は631社）、識学基本サービスライト（旧識学会員）の会員数は520社（前連結会計年度末は422社）、識学クラウドの契約社数は22社（前連結会計年度末は39社）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のプラットフォームサービス売上高は1,609,000千円（前年同期比5.5%増）となりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の組織コンサルティング事業における売上高は3,581,768千円（前年同期比0.2%増）、営業利益は123,285千円（前年同期比71.2%減）となりました。

(スポーツエンタテインメント事業)

当第3四半期連結累計期間においては、Bプレミア参入を目指してチームの強化を行いながら「地域密着型クラブ」として地域スポーツ振興を普及することを目的とした取組みを行ってまいりました。2025-26シーズンのスポンサー獲得に向けた営業活動及び企業版ふるさと納税のさらなる拡充に向けた地方公共団体との連携強化に努めてまいりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間におけるスポーツエンタテインメント事業の売上高は530,045千円（前年同期比21.3%増）、営業利益は14,034千円（前年同期は営業損失34,485千円）となりました。

(ファンド事業)

当第3四半期連結累計期間においては、「組織力」や「成長する組織への転換」に着目した投資を行い、投資先企業への「識学」導入による組織改善によって成長を支援するファンドを運営し、新進気鋭スタートアップ投資事業有限責任組合は新たに3社に対して出資を実施するなど、積極的な投資を行ってまいりました。また、新生識学成長支援1号投資事業有限責任組合において、売却による投資回収が1件発生しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるファンド事業の売上高は1,027,499千円（前年同期は売上高無し）、営業利益は656,702千円（前年同期は営業損失108,262千円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状況の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、5,154,565千円となり、前連結会計年度末と比較して259,386千円の増加となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産合計は、4,461,276千円となり、前連結会計年度末と比較して310,908千円の増加となりました。これは主に、営業投資有価証券の増加276,092千円によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産合計は、693,288千円となり、前連結会計年度末と比較して51,522千円の減少となりました。これは主に、投資その他の資産に含まれる長期前払費用の減少54,616千円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債合計は、1,314,539千円となり、前連結会計年度末と比較して31,542千円の減少となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少162,542千円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債合計は、65,185千円となり、前連結会計年度末と比較して46,510千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少47,871千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,774,841千円となり、前連結会計年度末と比較して337,438千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加392,718千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年7月11日に公表しました連結業績予想から、売上高及び各利益の見通しを修正致しました。

連結業績予想における売上高は、6,500百万円（対前回予想比8.5%減）となる見通しです。営業利益は、500百万円（対前回予想比47.4%減）となる見通しです。経常利益は520百万円（対前回予想比45.4%減）となる見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益は360百万円（対前回予想比47.6%減）の見通しです。

(連結業績予想)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想（A）	7,100	950	954	687
今回発表予想（B）	6,500	500	520	360
増減額（B-A）	▲600	▲450	▲434	▲327
増減率（%）	▲8.5	▲47.4	▲45.4	▲47.6
(ご参考) 前期実績 (2025年2月期)	5,369	330	356	426

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,312,580	2,228,397
売掛金	574,587	773,808
営業投資有価証券	993,292	1,269,384
商品	8,918	15,208
貯蔵品	1,632	1,651
前払費用	243,960	178,223
その他	25,614	17,665
貸倒引当金	△10,217	△23,062
流動資産合計	4,150,368	4,461,276
固定資産		
有形固定資産	150,242	150,160
無形固定資産	104,182	81,092
投資その他の資産		
投資有価証券	91,272	112,024
繰延税金資産	70,498	77,656
その他	328,815	274,099
貸倒引当金	△200	△1,745
投資その他の資産合計	490,386	462,036
固定資産合計	744,811	693,288
資産合計	4,895,179	5,154,565
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	238,870	76,328
未払金	222,162	280,757
未払費用	280,413	224,122
未払法人税等	227,296	197,341
前受金	308,011	472,835
その他	69,327	63,154
流動負債合計	1,346,081	1,314,539
固定負債		
長期借入金	106,269	58,398
繰延税金負債	5,426	6,787
固定負債合計	111,695	65,185
負債合計	1,457,777	1,379,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,252
資本剰余金	2,287,553	2,287,805
利益剰余金	651,279	1,043,997
自己株式	△490,234	△490,234
株主資本合計	2,458,599	2,851,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,157	6,362
その他の包括利益累計額合計	1,157	6,362
新株予約権	76,555	102,303
非支配株主持分	901,090	814,354
純資産合計	3,437,402	3,774,841
負債純資産合計	4,895,179	5,154,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	4,012,891	5,139,313
売上原価	1,175,700	1,557,594
売上総利益	2,837,191	3,581,718
販売費及び一般管理費	2,551,474	2,787,695
営業利益	285,716	794,022
営業外収益		
受取利息	193	2,345
新株予約権戻入益	—	9,312
為替差益	—	1,230
助成金収入	14,972	8,234
違約金収入	6,000	—
投資事業組合運用益	638	628
その他	8,615	7,433
営業外収益合計	30,420	29,185
営業外費用		
支払利息	3,423	2,349
株式交付費	358	—
持分法による投資損失	3,078	1,949
為替差損	2,805	—
貸倒損失	—	666
支払手数料	—	18,637
その他	897	1,399
営業外費用合計	10,563	25,001
経常利益	305,573	798,206
特別利益		
投資有価証券売却益	203,022	—
知的財産権譲渡益	10,000	—
特別利益合計	213,022	—
特別損失		
減損損失	—	160,785
特別損失合計	—	160,785
税金等調整前四半期純利益	518,596	637,421
法人税等	175,337	303,033
四半期純利益	343,258	334,387
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△34,892	△58,330
親会社株主に帰属する四半期純利益	378,151	392,717

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	343, 258	334, 387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	579	10, 395
その他の包括利益合計	579	10, 395
四半期包括利益	343, 838	344, 783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	378, 444	397, 923
非支配株主に係る四半期包括利益	△34, 606	△53, 140

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)
(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	組織コンサル ティング事業	スポート エンタテイン メント事業	ファンド事業	計		
売上高 顧客との契約 から生じる収益	3,575,859	437,032	—	4,012,891	—	4,012,891
外部顧客への 売上高 セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3,575,859	437,032	—	4,012,891	—	4,012,891
計	3,575,859	578,708	—	4,154,567	△141,676	4,012,891
セグメント利益 又は損失(△)	428,286	△34,485	△108,262	285,537	179	285,716

(注) 1. 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、VCファンド事業セグメント及びハンズオン支援ファンド事業セグメントをファンド事業セグメントとして認識しております。この変更は、事業の管理方法及び経済的特徴が概ね類似している事業セグメントを統合したことになります。この変更に伴い、前連結会計年度のVCファンド事業に係るセグメント損失102,080千円及びハンズオン支援ファンド事業に係るセグメント損失6,182千円はファンド事業セグメント損失108,262千円となります。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	組織コンサル ティング事業	スポーツ エンタテイン メント事業	ファンド事業	計		
売上高 顧客との契約 から生じる収益	3,581,768	530,045	1,027,499	5,139,313	—	5,139,313
外部顧客への 売上高 セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3,581,768	530,045	1,027,499	5,139,313	—	5,139,313
計	3,581,768	813,378	1,027,499	5,422,646	△283,333	5,139,313
セグメント利益	123,285	14,034	656,702	794,022	—	794,022

(注) 1. 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、VCファンド事業セグメント及びハンズオン支援ファンド事業セグメントをファンド事業セグメントとして認識しております。この変更は、事業の管理方法及び経済的特徴が概ね類似している事業セグメントを統合したことになります。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

組織コンサルティング事業セグメントにおいて、その他の固定資産の減損損失を計上したことにより、その他の固定資産の金額に重要な変動が生じております。当該事象によるその他の固定資産の減少額は94,461千円です。

また、スポーツエンタテインメント事業セグメントにおいて、有形固定資産の減損損失を計上したことにより、有形固定資産の金額に重要な変動が生じております。当該事象による有形固定資産の減少額は3,349千円です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	47,914千円	47,322千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。